

仙台市新任係長研修 脱ひとりよがり行政」 ～ 20030515 ～

図で表すと本当にわかりやすいということ
を再認識しました。先生の本、
ぜひ購入して、読みたいと思います。
うれしい出会いでした。

図解は保育所の運営や保護者への説明など
に役立てることができるように思います。

積極的に物事を構築していく姿勢に関心しました。
今の時代前向きに仕事をしていきたいと思いました。

市役所生活にすっかり染まった私にとって
先生のお話は大変参考になりました。

とても楽しくわかりやすいお話をありがとうございました

なるほど」と思えるような話で大変
興味深く拝聴させていただきました。
自分自身の仕事に対する姿勢について
見つめ直さなければと考えさせられ、
大変有意義でありました。

仕事上の説明資料を作成する際、
いつも「図解できたら良いのになあ」
と思っています。

「キャリアコンサルタント」の話は
そのレベルまでいかない
ところの子供たちと仕事
していますが、興味を
持って聞かせていただき
ました。

従来の説得方から納得方へ
慣習とは違う見方へと課題は
多いのですが、広い視野を
持って仕事を進めていきたい
と思っています。
何より 野田先生・久恒先生
が宮城県の活性化のキーワード
となっている事は大きな力を
感じます。今後のご活躍に
期待いたします。

箇条書きは本当に良くないのか？
事柄の本質を誰にでもわかるように
正確に、しかも簡潔に示すことも
必要なことではないか？

職場を活性化する方法として
また、問題解決へする方法として
活用してみたいと思いました。

発想の転換

文章を書くことが目的ではなく
問題をいかに解決していく
のが重要であり 今後
仕事にどのように取り入れる
ことができるか、活かすこと
ができるか、考えるよりも、
まずはチャレンジしたいと思う。

カルチャーショックでした。先
生の著書を読んでいましたが、
今度帰りに購入して読ませて
勉強させていただきます。
古川市がお世話になっていま
す。(私、古川市民です)

大変よい話を聞かせていただきありがとうございました。
是非、本を買って読みたいです。

目から鱗が落ちた思いです。

文章と図の更なる活用、
市民がわかりやすく
協調できる公務運営
について追求した講義
を次回期待しております

最近、文書、特に箇条書き
で、報告書をまとめることが
多く 耳が痛い内容でした。
「考えること」に関する
先生のお考えは、
まさにその通り!!と感じた。

箇条書きが思考力を無くすという話は、自
分にも思い当たるところがあり、ドキリとさ
せられた。今回の講義の内容を学生の時
に受けてみたかったと思った。

本を購入して読もうと思った

大変有意義でした。プレゼンで説明
する際、たいへん効果的な方法で
あり、ぜひ参考にしたいと思います。

物事は考え方次第であるという事に気付かされた。
頭を柔らかくして発想の転換が大事だという事、
それが意識改革に近づく道だという感想を持ちました。

今年から新しい仕事内容に入り、とまどいが
ありましたが、今回のお話を今後活かして
いきたいと思っています。

図解することで自分の思考を構築
することができるというお話には
非常に納得いたしました。

「箇条書きは思考力を低下させる」であるとか「説得行政から
納得行政へ」という話は大変面白く、今後の仕事に役立たせ
たいと思います。物事を図解で示すということも、今後何かの
機会に取り組んでいきたいと思っています。大変ためになりました。

今回の講義は時間が短かった
こともあり、もう一度、きちんと
講義を受ける機会があれば
と思う。

有益なお話でした。又、現在事業計画の
改革に取り組んでいて、改革にあたっては
内部での調整に苦労しているので次回は
そういう戦術についてもお話ください。

仙台市新任係長研修 「脱ひとりよがり行政」 ～20030515～

説得型行政から納得型行政への転換はまさにその通り。個人の意志としても基本と考えたい。

「人は30才から仕事をするようになる」「上司はてにをはを直す」等うなずける話題が全体に散りばめられ、楽しく聞けました。

久恒先生の講義は実は2度目です。相変わらず楽しい講義で。野田ファンクラブはあるようですが、久恒ファンクラブはあるのでしょうか。

正直、役所に入って13年目ですが、忘れかけていたことを思い出させてもらいました。「ごまかしの文書」とか「説得型行政」など、役所の掟のような部分を指摘され、冷や水を浴びせられた感覚がありました。今後は住民ニーズの吸い上げの重要性が増してい中で、先生のお話の大切さを改めて認識できました。

先生のシステムの音を薫と使い古しのタオルでよくできます。興味があったら連絡ください。

物事の考え方について、図示して考える重要性がわかりました。先生のメールマガジン、楽しみにしています。

言われてみるとその通りと感じた。是非先生の著書を購入して更に詳しく知りたいと思う

図解が大事なことであるということが実感できました。また、先生の考えられる物事に対する本質論は大変感動を覚えます。先生が今までに著された書物を一通り購入し、座右の銘として今後の仕事の中に活用してまいりたいと思っております。今日は素晴らしい講義により、目のウロコが何千枚もはがれ落ちたようなビビッドなものを肌で感じました。

内容は非常に参考になりました。今後の職務に役立てたいと考えております。

現在、「構想力」や「表現力」が必要な仕事をしていることもあり、大変参考になりました。

そもそも、文章で「わかりやすく」するのは無理だったのですね。図解の仕方の実践も教えていただきたかったなと思いました。

上司の方にこそ、そういった考え方が必要かと思いました。自分無用に消化して考えていきたいと思えます。

非常にわかりやすく、おもしろく話を聞かせていただきました。文章中心のコミュニケーションスタイル、ごまかしの聞くものだという話には、正直ドキッとしつつその通りだと納得してしまいました。

とても親しみの持てる話し方で、楽しく聞かせていただきました。物の考え方、仕事内容の見直し方など、本当に目からウロコ状態でした。また、ユーモアやゆとりのある仕事の仕方も見習いたいと思いました。

図を多く取り入れたものにしていきたいと思う

大変勉強になりました。今後、宮城大学事業構想学部から新たな事業が世界に発信されることを祈念いたします。

とても参考になるお話でしたが、若干早口のせい、言葉(単語)の一部が聞き取れないところがありました。

ネットワーク構築の為、図解も取り入れたところ、上司、周囲(大学関係者他)も同意が得られ、図解の必要性を感じました。図解は自分の頭の整理と、この仕事が目指す方向や、今後の課題が浮き彫りにされます。またお会いしたいです。

自分の考えを理解、疑問、批判に整理して考えるようにしたいと思いました。

履歴書に書けるキャリアがあるか？と考えたとき、何もなしに気付かされた。仕事に対し、問題意識を持たずに仕事をしてきたためではないかと思知らされた。また、自分の仕事のやり方も「納得」ではなく「説得」だった。図解の重要性も理解できたので、今後の仕事に役立てていきたい。

仙台市新任係長研修「脱ひとりよがり行政」 ～ 20030515 ～

人生設計という説明の中で、50歳位で老けてはいられないということに共感した。(自分も同年代)

新しい職場でやっと仕事が見えてきた時期に貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。「今まで何をやってきたか」「これから何をやりたいか」時間を見つけて、図にしてみたいと思いました。

研修時間も内容により(時間設定)よかった。

箇条書きに整理できるということは重要ではないでしょうか。

意識改革と説得型から住民納得型行政への転換の重要性を感じました。

箇条書きは思考を停止させるという指摘には驚きです。学生さんに負けないよう今後取り組んでいきたいと思えます。

自分のコミュニケーション能力の低さが仕事の大きな問題となっていたので、良いヒントをいただいたと思います。

先生の主張はわかりやすく面白い内容でした。役所の文書の「等」を多用するごまかしは意識していましたが、箇条書きの欠点には「はっ」とさせられました。

箇条書きが思考を要しない方法である」という先生の話は目からウロコが落ちる話でした。

とても楽しく学ぶべきところがありました。

仙台発の世界に通用する技術
八木 宇田式アンテナ 久恒啓一図解web

有益な話を聞くことができました。私立病院の経営改善を担当していますので、活かしていきたいと思えます。

箇条書きが思考停止をまねくという事は驚きでした。前の上司から、図解のできる職員は優秀な職員だという話をしていたのを思い出しました。

これまで、図をどう表現したらいいのかわからなく、ぐちゃぐちゃのメモを説明しながら渡していました。

講演時間が短くて、かけ足での講義になったのが残念です。

もう一度詳しく講義を受けてみたいです。

本を買うかどうかはわかりませんが、まず図解webを拝見させていただきます。

斬新な切り口で提言を頂き、非常に参考になった。仙台市の人事政策の意気込みを感じられた。

先生の方法論は非常に興味深いものと思います。

ワークショップを行うなど、図を作成する作業を取り入れるともっと理解しやすいのではと思う。

研修も納得的で面白かった

人をひきつける講話に感謝します。図解にトライする契機を見つけられずにいました。

キャリア開発が大切であることがわかりました。説得することが納得してもらえたと勘違いしている面も気づきました。

図解webサイトが面白かったです。近々、3年ほどで30万件アクセスあったサイトを再び立ち上げる紆余低です。

図の作成方法について具体的な手法を説明していただきありがとうございました。